

第3回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日時 平成29年11月22日(水) 10:00~12:00
場所 鶴瀬コミュニティセンター 第3集会室
出席者 ○市民懇談会参加者

岩本	是永	大木	佐藤	藤川	狐塚
○	○	×	○	○	×
氣賀澤	池田	高橋	田村	大下	矢島
○	○	○	○	×	○

○事務局

【生涯学習課】 鳥海課長、和田副課長、加治主査

【地域文化振興課】 中嶋課長、佐藤主査、田中主事

1. 開 会

・あいさつ 岩本座長

2. 議 事

2-1. 計画の進行管理について

事務局より生涯学習推進計画の進行管理について説明を行った。

協議事項は以下の通り。

① 出前講座について

委 員) これからの未来に向けた行政のビジョンに関連する講座を増やした方が良い。

委 員) 各講座の担当課に動向調査などは行っているのか。

事務局) 毎年、次年度の開講予定講座について照会を行っている。
また、利用者アンケートは担当課に共有している。

委 員) 講座を開くときに大切なことは「楽しさ」だと思う。
どの程度市民の声を吸い上げていくかが課題。

委 員) いろいろな講座がある。それぞれの講座を開講する目的を見失わないようにしなければならない。また、PRも大切。

委 員) 市民学芸員の活用や、広報紙に出前講座を受講した感想を掲載するなどの方法も考えられる。

委 員) 個人よりも、町会の役員などニーズのある人に働きかけていくことが大切だと思う。

② 人材バンクについて

委員) 大学の教員・学生も登録可能か？

事務局) 登録可能である。

委員) 学生にとっては勉強したことを発表する良い機会となる。
市民にはそれを楽しんでもらい、お互いにとって良い関係を作ることができれば。

委員) 人材バンクへの登録に条件はあるのか。

事務局) 登録に条件はない。利用は市民のみという条件があるが、将来的には近隣市町にも利用範囲を拡大したい。

委員) 小学校等でも利用の需要があると思う。連携をとって実施できれば面白いと思う。

委員) シルバー人材センターと名前が似ていることから、間違われることが多い。

委員) シルバー人材センターは市で直接管理しているのか。

事務局) 市では直接管理していない。

委員) シルバー人材センターと人材バンクで一部の実施内容が重複しており、混乱を招く原因となっている。

委員) 人材バンクはボランティアなのか。

事務局) 基本的にはボランティアである。内容によっては一定の報酬を出してもよいのではという話も出ている。

委員) 案内にもボランティアの表記を入れたほうが良い。

③ 生涯学習ガイドについて

委員) 市内のサークルの名前が掲載されているのか。

事務局) サークル名の記載はないが、各公民館・交流センター等で行われているサークル活動の内容について記載している。

2-2. 生涯学習情報提供の推進について

① 市役所窓口における外国語対応について

事務局より市役所窓口における外国語対応について説明を行った。
協議事項は以下の通り。

委員) ふじみ野国際交流センターに市の職員は常駐しているのか

事務局) 市の職員は常駐していない。週に一回ふじみ野国際交流センターのスタッフによる外国籍市民生活相談を行っている。

委員) 人的配置は難しいと思うが、外国人が生活しやすいまちづ

くりのためにできることから始めてほしい。

委員) 最近、子どもに関する総合相談窓口として子ども未来応援センターができた。外国人の生活に関する総合相談窓口のようなものができるとうい。

② 生涯学習関連事業への補助金の交付状況について

事務局より生涯学習関連事業への補助金の交付状況について説明を行った。協議事項は以下の通り。

委員) 補助金が出ている団体と出していない団体との違いは。

事務局) 公益性が高い行事や団体に対し、支出している。

委員) 個人的なサークルには補助金を出していないのか。

事務局) 出していない。

③ 各公民館・交流センターの広報紙について

事務局より各公民館・交流センターの広報紙について説明を行った。協議事項は以下の通り。

委員) 地域のことが細かく書かれている印象がある。

委員) ふじみ野エクスプレスはつるせ公民館だよりに挟んであるが、配布範囲が広すぎるように感じる。つるせ西だよりのようにふじみ野・勝瀬エリアに特化した広報紙がほしい。

委員) 発行回数が公民館によって違うのはなぜか。

事務局) 年10回にそろえる流れがあったが、地域住民の要望もあり、水谷東公民館だよりは年12回に発行としている。

委員) 公共施設のラックにPR用パンフレット用の貸し出しスペースを作り、有償で貸し出してはどうか。

・その他

次回開催日程について

時期については来年3月を予定とし、詳細な日程については調整の上、改めて通知することです承された。

3. 閉 会

以上